

令和6年度 大杉小学校努力点推進計画（案）

1 主題とサブテーマ

見つけよう！自分の学び

～協働的な活動を取り入れた授業を通して～

2 主題設定の理由

本校では昨年度より、「見つけよう！自分の学び」というテーマで実践を行い、個別最適な学びを実現するための手段として、自由進度学習を取り入れた授業実践を行っている。自由進度学習を取り入れた授業では、子どもたちが自身の興味・関心や学習のペース、習熟度に応じて学習計画を立て、学習を進めた。実践1年目となる昨年度は、一斉授業と自由進度学習の双方の良さを生かすため、学習内容の定着に効果的だと考えられる単元の一部に、課題や学習活動を選択できる授業を行った。自分のペースで学習を進めることができることが、子どもたちの学習意欲を高めることにつながり、主体的に学習に取り組もうとする児童の姿が見られ、学習の個別最適化を目指した実践は、一定の結果を得た。

しかし一方で、昨年度の実践では、自由進度学習として児童がそれぞれ異なるペースで学習を進めるため、授業において児童間の交流が少なくなるという課題が残った。協働的な学びにおける意見交換や議論は、児童の学習内容への理解を深め、新たな視点を得るなど、個別最適な学びをより効果的に実現するものであると考える。

そこで今年度は、自由進度学習に協働的な学びを意図的に取り入れ、児童が互いに学び合う機会を増やすことで学習効果を高め、より主体的に学ぼうとする児童の育成を目指す。

3 研究の内容

(1) 授業実践について

前期・後期どちらかで1回、指導案（略案）を作成して、公開授業実践を行う。学年で話し合い、各学期に一人は実践を行うようにする。教科は限定しない。1時間の中に個別最適な学び・協働的な学びの活動を両方取り入れる。

指導案実践を行う日時は、授業日2週間前までに、推進委員長へ報告する。推進委員長は、その後教務主任、教頭、校長と相談し、日程調整をする。実践を行う際は、指導案（略案）を作成し、事前（授業日1週間前まで）と事後に、各部会での検討会を行う。指導案は、事前検討会の2日前までには配付するようにする。また、可能な限り教師同士が参観し合うようにする。

(2) 保護者に対して

学年だより（前期実践：10月号、後期実践：2月号）を通して活動内容を報告する。

【努力目標】年3回ある授業参観のうち1回で、努力点を意識した授業を行うことができるとうい。

(3) 指導案について

【報告書の書式及び項目立て】

第○学年○組 ○○科学習指導案（略案） 令和6年○月○日（○曜日） 第○時限 授業者○○ ○○
1 単元
2 指導計画
3 本時の目標
(1) 目標
(2) 準備
(3) 関連
(4) 指導過程
（個別最適な学びの活動には【個】・協働的な学びの活動には【協】をつける）

(4) 研究のまとめについて

報告会を行う際の資料にするため、報告書を作成する。

（書式等については、以下参照）

【報告書の書式及び項目立て】

40字×30行程度、12ポイント、余白20mm、MS明朝
各学級で、A4片面1枚以上。

○年○組の実践
I 実践の内容
(1) 取り組んだ教科・領域、単元
(2) 学習のめあて
(3) 指導の実際
II 成果（○）と課題（●）

4 年間計画

日にち	内容	備考
4月1日(月)	努力点推進委員会	骨子の決定
4月11日(木)	努力点全体会	概要説明
4月～7月	前期授業実践	
9月5日(木)	努力点全体会・現職教育	前期実践報告会
9月中旬～12月	後期授業実践	
1月16日(木)	努力点全体会・現職教育	後期実践報告会
2月26日(水)	努力点推進委員会	次年度の計画

5 研究推進の組織

